

1201-1

12月1日 14:00-14:30 (日本時間 12月1日 22:00-22:30)

“Future European Aerospace Research Towards Green Aviation”

(グリーンアビエーションに向けた将来のヨーロッパの航空宇宙研究)

講演者 : Axel Krein (Executive Director, Clean Sky 2 Joint Undertaking)

Clean Sky 2 プログラムについて

- 目標は、2014 年の最も優れた航空機に対してCO₂、NO_x、騒音を 20~30%削減。公的およびプライベートなパートナーシップ・プログラムに総額 40 億ユーロの予算。360 以上の中小企業、150 以上の大学など全体で 940 以上の組織が参画し、関係するエンジニア・科学者は 5000 人以上。
- 研究開発の対象は、空力、飛行システム、電動化、構造、生産技術など。
- 仏オクシタニなど欧州の 18 地域とMOUを締結し、約 50 件のパイロット・プログラムを実施。

欧州の気候変動対策について

- 2050 年に航空機のCO₂排出をゼロにするためのロードマップは、2030 年までに技術開発、2035 年までに機体開発して量産。
- 技術開発に 120 億ユーロ、3 機種 of 新型機開発に 500 億ユーロ、26,000 機の新型機量産に 5 兆ユーロの費用見込み。
- CO₂ゼロの内訳は、燃料消費で 50%、航空管制で 10%、バイオ燃料などの新燃料で 40%。
- 焦点項目としては、
 - ・ハイブリッド電動および完全電動
 - ・水素推進航空機を可能にする破壊的技術
 - ・超効率的な航空機システム
- 2050 年時点で排出ガスの 60%は 3000 km 以下の短距離路線からと予測。